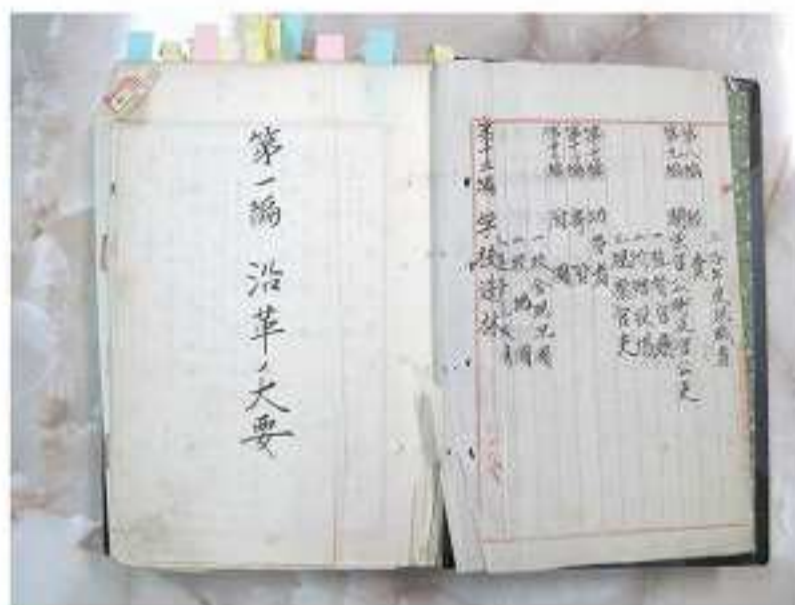


校長室から 第1号

発行にあたって

本校では本年度、開かれた学校づくりをめざし、学校の情報を早く、広く皆様に伝える取組をしてまいりました。具体的には、学校経営については学校だよりで、教育活動等については西小かわらばんで、発信しています。

この度、これら以外に、校長が思ったり考えたりしたことを、勝手に書いて、勝手に皆様にお届けいたします。取り急ぎ、タイトルを「校長室から」としました。発行は不定期です。ご一読くだされば幸甚です。



これが永久保存の学校沿革史です。

「朝日に映えて そびえ立つ 札滑岳の 雄々しさよ」

ご存じ、本校の校歌1番冒頭の歌詞です。しかし、本校から札滑岳の雄々しい姿を望むことはできません。西興部市街地からも同様です。では、なぜこの歌詞が作られたのでしょうか。この疑問に対し、ある方から「昔の校舎からは札滑岳が良く見えたらしい」という情報をいただきました。さっそく、校長室の金庫の中から学校沿革史（写真）を取り出して、調べてみることにしました。

まず、校歌がいつ制定されたかについてです。沿革史からは明らかにすることはできませんでした。次に作曲者及び作詞者についてです。作曲者松井喜一氏についての記述を見つけることはできませんでした。作詞者政井三郎氏については本校の第5代校長として大正15年8月31日から昭和13年3月31日まで在職していたことがわかりました。

そして、校舎がどこにあったかを調べてみました。初代校舎（明治41年1月25日～上興部原野6線）は現在の六興、バス停叶宅前付近で、国道のすぐそばに碑があります。2代目校舎（大正6年10月1日～上興部原野8線448番地）は現在の七重、西興部中学校付近です。3代目校舎（昭和2年10月22日～）は現在の本校グラウンドの山側にありました。もちろん、3代目校舎からも札滑岳を望むことができません。ところが、2代目校舎の付近、例えば西中道路からは南西の方向に札滑岳をはっきりと望むことができるのです。

これらのことから、政井三郎氏が2代目校舎に勤務していた時期（大正15年8月～昭和2年10月）に、日常的に目にしていたであろう札滑岳、その朝日に映えた雄々しい姿を校歌の歌詞にしたと考えることができます。

さて、去る11月6日に実施した「本校児童と老人クラブの皆さんとの交流会」でのことです。老人クラブの皆さんに対して、学校要覧を基に本校の沿革を説明した際に、上記の歌詞の件についてお話ししました。すると、ある方から「私たちが歌っていた校歌の歌詞と、現在の校歌の歌詞が違っている」とのご指摘をいただきました。

このことをきっかけにして、本校の歴史についていろいろなことが解ってきたのです。追って文章にして、皆さんにお知らせしたいと存じます。 （校長 池原英二）